

令和6年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 三木市立自由が丘幼稚園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4歳児は家庭保育の子どもが多く、初めての集団活動に喜びを感じている。また好奇心旺盛でそれぞれ自分の思いのまま表現している。5歳児は少人数クラスで、言わなくても相手の気持ちが分かり合える良さがある。一方でかかわりが固定化しつつある。</li> <li>・ 外遊びや給食タイムを通して異年齢での日常的なかかわりができるような心がけている。その中で互いに良い刺激を受けている場面と自己発揮しきれていない場面が見られ、発達年齢に即した活動も考慮していきたいと考える。</li> </ul>
目標	<p style="text-align: center;">心豊かで思い合える子どもの育成 ～自分の気持ちを大切に・友だちの思いも大切に～</p>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他園や他校種、地域とのかかわりが深まるよう学期ごとに計画し、継続的にふれあう機会を増やす。</li> <li>・ 幼児理解に努め、一人ひとりが頑張っているところや課題となり得るところを把握し、支援を探り教師間での共通理解に努める。また、教師間で伝えあったことを子ども同士の分かち合いでも取り入れ、次の遊びや活動への意欲につなげていく。</li> <li>・ 自ら主体的に友だちと相談したり、意見を交わしたりできるよう、子どもたちの遊びが広がるような支援及び環境を整えていく。</li> <li>・ 一つ一つの行事や遊びを今年はどうするか、子どもたちはどうしたいかその都度子どもたちの実態に即して丁寧に考えていく。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校交流では、1学期は幼稚園に招いて集団遊びを楽しみ、2学期は体育館での運動遊びや教室での学習を体験するなど園児と児童、双方の育ちについて考え計画したことで互いの学びにつながった。また、近隣園である自由ヶ丘認定こども園とも交流し、同じ学校に就学する友だちとふれあう機会を広げることができた。</li> <li>・ 今年度、多文化共生主任を中心に、外国籍の子どもの困り感を具体的に把握し支援したり、多様な文化が尊重される遊びや行事へと見直しをしたりしたことで、全ての子どもが楽しみながら異文化理解を深めることができた。</li> <li>・ 行事では特に気候変動による暑さ対策として戸外での運動会を見直し、遊戯室の広さを生かして十分な活動が出来るよう環境構成を工夫し実施したことで、子どもたちの集中力が高まり、より主体的な活動が増えた。</li> </ul>
評価	<p>外国籍の子どもたちと共生して生活ができるように工夫されている。一人一人の特徴を捉え、育ちのねらいを見定めながら、文化的多様性に配慮した保育が進められている。多文化共生の考え方を保育に取り入れるについては、市全体のモデルとなる実践であると考えられる。また、小学校や近隣園との交流が積極的に行われており、お互いの育ちに寄与する形で計画されていることは評価できる。心と身体が共に健やかに育つように、親身になって保育がなされており、子どもたちが幸せに日々を過ごしていると感じられる。多文化共生や人権を大切に作る保育のモデルとなっていたいただきたい。</p>